

有害プランクトン情報 (令和5年度 - No. 10)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾で沖合のプランクトン調査を行っている他、県内の貝類漁場でプランクトンの出現状況を調べています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 1月 第1回 内湾 (8地点) 1/10 内房 (7地点) 1/17
1月 第2回 内湾 (8地点) 1/22 内房 (7地点) 1/30
貝類漁場内 木更津北部地区 1/10 千葉北部地区 1/11 富津地区 1/25

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- 沖合でカレニア属がみられました。
 - ・ 1/10 富津 密度は0.05細胞/mL
- ※ シャットネラ属は1細胞/mL, シュードシャットネラ属は100細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000細胞/mL, カレニア属は100細胞/mL以上で注意報を発生します。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 µg/L 以上) はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 沖合でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 1/10 アクア北 密度は0.2細胞/mL
 - ・ 1/22 アクア北, アクア南, 千葉灯標 最大密度はアクア南, 千葉灯標の0.1細胞/mL
 - 沖合でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 1/10 アクア北, 船橋, 千葉灯標 最大密度はアクア北の0.2細胞/mL
 - ・ 1/22 アクア南 密度は0.05細胞/mL
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- 確認されませんでした。
- 赤潮（透明度 1.5 m 以下，pH8.5 以上，酸素飽和度 150%以上，クロロフィル a 50 µg/L 以上）は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

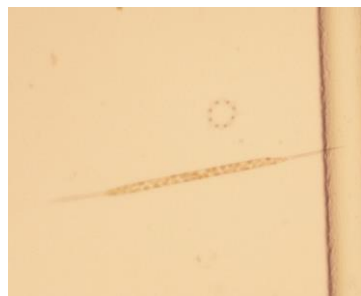
- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

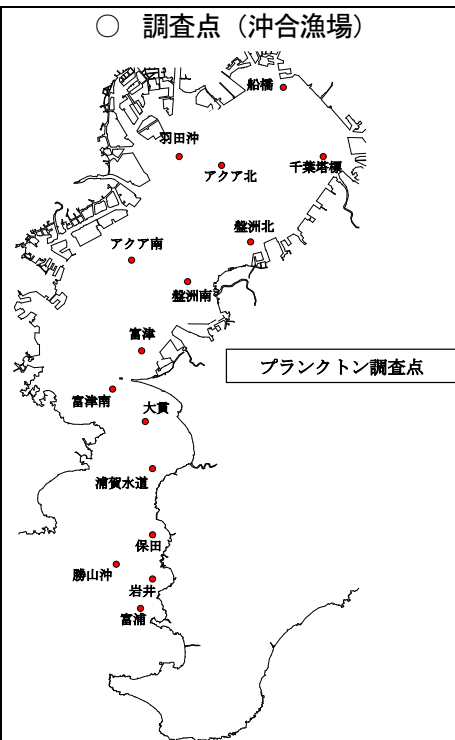
1/10, 17	内湾・内房	珪藻タラシオシラ属, スケルトネマ属, リゾソレニア属 など
1/22, 30	内湾・内房	珪藻タラシオシラ属, スケルトネマ属, リゾソレニア属 など



タラシオシラ属
(1/10 富津)



リゾソレニア属
(1/10 富津)



連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp